

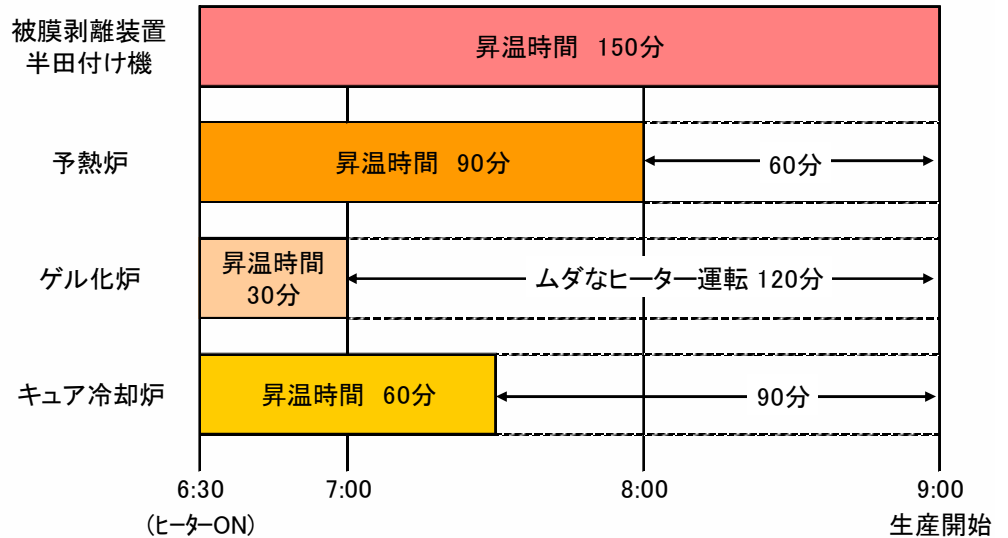


必要な運転準備時間を把握しましょう。

設備機器等に必要運転準備時間（昇温時間など）を把握し、運転開始時間を見直すことで、運用の効率化による省エネを図ります。

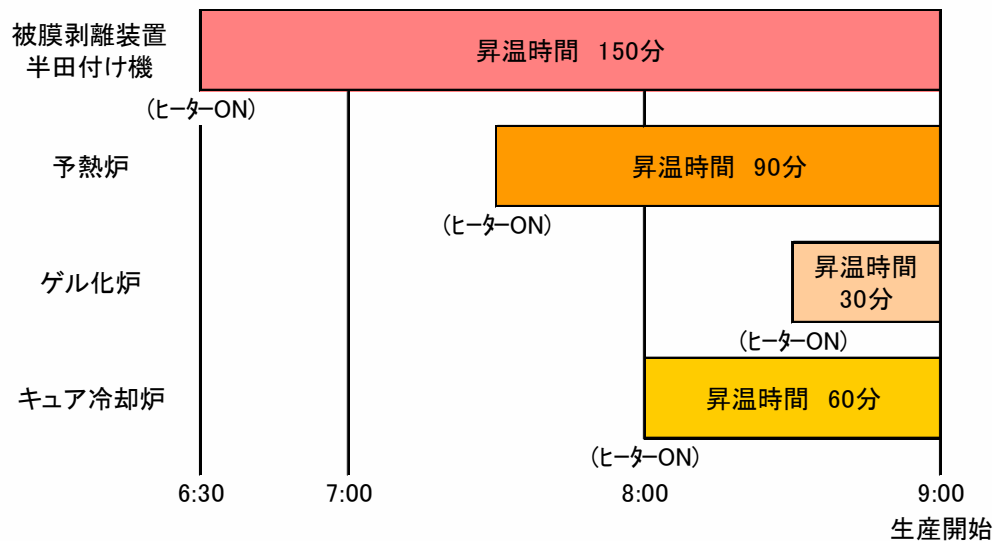
対策例

現状



- ・ 生産開始時間に対し、昇温時間が長い設備にあわせたタイマー設定で運用
- ・ 昇温時間が短い設備のヒーター運転を生産開始時刻まで行うため、エネルギーのムダが発生。

改善後



- ・ 各設備の昇温時間を考慮し、生産開始にあわせて、昇温開始時刻をタイマーなどで調整することで、ムダなヒーター運転を削減。

省エネ対策のポイント

- ・ 生産状況等に応じて、曜日ごとに昇温時間のタイマー設定をすることが有効です
- ・ 運転開始時間だけでなく、生産終了後等の運転停止時間についても、各設備の運用状況を確認し、ムダな運転がないか確認しましょう。